

人口と世帯 人口 400,584人 男 198,653人 女 201,931人 (前月より413人増) 世帯 162,743世帯 (前月より333世帯増) (15年11月1日現在)

市議会本会議をインターネットで傍聴しよう!

http://www.gikai-machida.jp/top.html

町田市議会は12月定例会からインターネットで本会議の議場中継を開始します。議場中継開始は、12月4日午後1時開会の本会議からです。中継をご覧になれなかった方は、本会議終了後24時間経過後に録画により視聴できます。

12月議会が開会 ~ 会期は25日まで ~ 補正予算など27議案を提案

平成15年第4回市議会定例会(12月議会)が12月4日に開会されます。本議会には、平成15年度一般会計補正予算など27議案が提案されます。議案の内訳は、補正予算4件、条例17件、契約2件、行政境界変更1件、財産処分1件、住居表示1件、町区域の変更1件となっております。会期は25日までです。

補正予算案

今回の補正額は、一般会計が2億9631万4千円、特別会計が9144万6千円で合計3億8776万円となります。補正後の額は、一般会計が113億2630万9千円、特別会計が10億8607万6千円、一般会計と特別会計の合計で215億0123万8千円となります。

一般会計補正予算の歳入の主なものは、市債2億6380万円、繰入金2億5千万円、都支出金1億116万円の順となっております。歳出の主なものは、総務費4億2174万9千円、民生費1億795万8千円、衛生費1425万7千円の順となっております。

補正後の内訳は、歳入では市税622億2170万8千円(構成比55.0%)、国庫支出金134億8436万円(同11.9%)、都支出金98億5939万5千円(同8.7%)、市債65億70万円(同5.7%)、繰入金51億521万3千円(同4.5%)の順となっております。

歳出では、民生費375億780万6千円(構成比33.2%)、土木費184億3189万4千円(同16.3%)、教育費170億6806万3千円(同15.1%)、総務費141億6161万5千円(同12.5%)、衛生費120億1932万9千円(同10.6%)の順となっております。

今回の補正予算に計上されている科目別の主な事業は次のとおりです(1万円未満は切り捨て)。

【総務費】

町田市文化振興公社出損金(4億9900万円)、堺市民センター外部改修工事費(1040万円)

【民生費】

福祉基金積立金(4939万円)、福祉サービス利用者需要予測業務委託料(800万円)、ひとり親家庭等実態調査委託料(632万円)、子育て家庭ニーズ調査委託料(450万円)、生活扶助費等(1億6706万円)

【土木費】

町田市中心市街地まちづくり等整備事業補助金(500万円) 教育償還還元金 東京都区市町村振興基金(1785万円)

条例案

庁舎移転設計画を進めるに当たり、庁舎の位置を変更する「市役所の位置を定める条例の一部を改正する等の条例」、住民票などの交付手数料等について金額の見直しを行う「町田市手数料条例の一部を改正する条例」、組織の再編成を行う「町田市組織条例の一部を改正する条例」、「職員」の定義に短時間勤務職員を含める等の改正を行う「町田市職員定数条例の一部を改正する条例」、小山センターの名称を改め、各地域センターの施設使用料の改正を行う「町田市地域センター条例の一部を改正する条例」、小山支所を設置し、所管区域を小山町とする「町田市役所支所設置条例の一部を改正する条例」、施設使用料を改正する「町田市民フォーラム条例の一部を改正する条例」、利用料金及び利用区分時間の一部改正、休館日の変更などの「町田市民ホール条例の一部を改正する条例」、会議室等の使用料改正を行う「町田市わくわくプラザ条例の一部を改正する条例」、使用料の改正を行う「町田市健康福祉会館条例の一部を改正する条例」、町田市療育園条例を廃止して新しい条例を制定する「町田市子ども発達センター条例」、都の実施要綱改正に準じて、所得制限を変更する「町田市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例」、指定管理者制度が導入されたことにより改正する「町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例」同じく「町田市児童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例」、改正された都条例に補償内容を合わせる「町田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例」、

市長随筆

町田市長 寺田 和雄 その10

町田市には、市域を南北に縦貫するように鎌倉街道が走っている。現在の街道に沿って付かず離れず、旧鎌倉街道の一部ではあるが残されている。この道は、関東の内陸地帯から鎌倉に至る、まさに「いざ鎌倉」に備えた重要路線であったが、江戸に幕府が置かれて以降、衰退の途を辿った。

数年前、この旧街道の保全をはかること、関東各都府県関係市長が鎌倉市に集まり、サミット会議を開いたりしたが、その中でも町田市は比較的旧跡を多く保っている地域であることがわかった。

多摩ニュータウンの開発によってほとんど姿を消したこの旧街道は、町田市の小野路、野津田などの丘陵地帯に入ると当時と変わらぬ姿をとどめ、七国山 本町田 井出の沢へと続いている。町田市では、本町田あたりで街道は二つに岐れ、原町田 金森 境川のルートと、南大谷 成瀬 小川 鶴間のルートが認められ、今も各所に旧跡をとどめている。

今、成瀬・鞍掛の地に、市によって「鞍掛の松公園」の建設が進められていて、来春には完成する予定であるが、これも旧鎌倉街道の史跡を残したいとする考えからである。この公園は、鞍掛住宅地の高所にあつて、旧街道に沿う一宅地(二八八㎡)を買取って新しく整備しているもので、敷地は広くはないが、高ヶ坂、恩田川方面を展望する好位置にある。この公園の建設にあつては、地元住民や研究者らも建設推進協議会(会長・中里猪一氏)をつくって積極的に協力されている。

この公園の名称の通り、園内には三本の松が植えられるが、碑石には次のような碑文も記される。

鞍掛の松公園の由来

むかし、このあたりに鞍掛の松と呼ばれる松の大木があつたと伝えられている。

新田義貞ゆかりの鞍掛の松公園

元弘三年(一三三三年)五月、上野国(群馬県)で拳兵 鎌倉攻めに向かつた新田義貞は分倍河原(府中市)において北条泰家と合戦、これに大勝し、その夜(五月一日)と思われる)当地で軍勢を休め、翌七日、一気に藤沢へ攻め入つたとされている。その際義貞が馬の鞍を掛けた松が後世に残り、鞍掛の松と呼ばれるようになったりやがこの付近の地名も鞍掛と

いわれるようになったと言つた。この周辺の地は、町田川(恩田川)沿いに開かれた広い窪地が並び、この丘に登ると十六夜の月が一晩中あたりを照らし、鎌倉を目前にした義貞の大軍はわずかな物見の兵でも安心して休むことができ、大いに鋭気を養えたものと思われる。

平成十六年(二〇〇四年)三月 町田市

このあと、境川沿いに藤沢に入った新田軍は、鎌倉に進軍する途中、幕府側の激しい抵抗に、片瀬、腰越あたりで苦戦するも、新田義貞は稲村ヶ崎で海中に黄金つくりの大刀を投げ海神に捧げたとこ、俄に潮が引いて、怒濤のように鎌倉に攻め入つた(太平記)という。これにより五月二十二日、北条一族は自害して果て、一五四年続いた鎌倉幕府も崩壊した。

町田市には、縄文から自由民権の時代に至るまでまだまだ市民に知られていない歴史が残されている。これからも市民の協力を得ながら、貴重な自然とふるさとの歴史を後世に残していきたいと思



月岡芳年 「月百姿 稲むらか崎の明ほの夕月」 明治19年(1886年) 国際版画美術館蔵 ~大武者絵展より~

本日の広報紙には広報第2部町田市庁舎問題検討委員会「中間報告」についてのお知らせを掲載しています。ご覧下さい。